

平成 30 年度

事業報告書



社会福祉法人 成和会

特別養護老人ホーム 菊水苑

特別養護老人ホーム 喜志菊水苑

小規模多機能・グループホーム 菊水苑喜志の郷

菊水苑ケアサポートセンター

I. 総括

【特養事業】

特養事業では、法人の理念である『和顔愛語』を実現するためには、職員の質の向上が不可欠と考え、職員教育の充実を図った。例年同様、毎月の職員研修をはじめ、経営コンサルタントによる新人教育や中堅・指導者への教育、社協等主催の外部研修への参加、また、外部研修の伝達研修、必要に応じて専門機関を事業所に招いての研修等を行った。

ケアの方針については、より一層の個別的ケアを行えるよう、各部署が協働してケアプランの作成を行い、提供している。また、介護保険の基本的理念である「利用者の尊厳の保持」を具体化し、最期まで寄り添い、終の棲家としての機能を充実させるよう、看取りケアの実践を行った。

経営面に関しては、両施設ともロングショートと一体的に稼働率確保を推進しており、一定の成果は出てきている。

今後の取り組みとしては、入院者数の減少を図るため、機能訓練（リハビリ）の充実による身体機能の維持、嚥下体操・口腔ケアによる嚥下機能の維持に努めており、継続していく。おむつ O 運動を継続し、利用者の QOL の向上に努める。また、2025 年問題を見据え、職員の確保及び国際交流の一環として、外国人の受入れ体制の構築に努めた。

【通所事業】

通所事業では、両施設とも新規の利用者が増加してきている。同地区他施設との差別化を図る必要があると考え、日常のレクリエーションの充実を行い、顧客獲得のため、外部事業所へ定期的に訪問を行い、「断らないディ・断らないサービス」の実践が実を結んで来ている。また、希望の多い入浴業務に関しては、同性介護を必須とし、安心して入浴が出来ると好評をいただいた。さらには、「時間短縮」の利用者や「入浴のみ」の利用者も積極的に受入れ、顧客数の確保を目指している。さらに、ショーツステイ事業やヘルパー事業とも連携を取りながら、在宅部門一体となり、一貫したサービスの確立に努めている。

【ケアマネ事業】

在宅ケアマネ事業では、平成 30 年度の法改定の研修会に参加し、コンプライアンスの周知徹底をし、ケアマネの質の向上が必要と考え、各研修会に参加しケアマネシメントの質の向上に努めた。また定期的に家族説明会を開催し、介護保険の内容について地域住民の方に分かりやすく慣れ親しんで頂けるような活動を行っている。

【ヘルパー事業】

ヘルパー事業では、顧客の状況及び重度化に応じて、デイサービス、ショートステイにつなげており、法人の窓口としての機能は果たせた。

今後の課題は、例年同様、人手不足と職員の高齢化で、次世代への移行も視野に入れた職員配置を検討する必要がある、他部署の余剰職員の兼務も検討しながら対応していく。

【グループホーム・小規模多機能事業】

グループホーム事業では、併設している小規模多機能事業と連携をスムーズにすることで、常に待機者をショートステイで確保し、空室期間を出来る限り発生しないようにしてきた結果、稼働率予算目標に対する実績は、昨年度に比べると大きく改善した。入院者が減ったことも稼働率アップの要因の一つである。また、昨年度からの課題である利用者の重度化については、全介助の必要な利用者も増加傾向にあり、重度者の特養への異動についても法人内でより一層の情報交換を行い、利用者にとって最適な環境整備に努めて行く。

小規模多機能事業については事業の性格上、居宅と施設サービスの間的位置に属し、グループホームの大切な待機者の受け皿になり、空室期間をつくらないという点で大いに貢献している。登録者数が大きく変動しないよう、法人内のケアマネ、相談員と情報共有をすることはもちろんのこと他の事業所へのアピールも今以上に行っていくよう努める。

II. 実 績 報 告

【稼働率状況】

		稼働率【目標】	稼働率【実績】	達成率	状況
菊水苑	介護老人福祉施設事業	96.50	97.32	100.85	入院延べ人数は増加しているが、1人あたりの平均入院日数が昨年の24日から15日に減少しており、稼働率の確保に繋がっている。
	短期入所生活介護事業	80.00	88.62	110.78	安定した稼働率を維持出来た。
	通所介護事業	60.00	75.57	125.95	月平均3件の新規利用者を確保する事で、稼働率の確保に繋がっている。
喜志菊水苑	介護老人福祉施設事業	98.00	98.63	100.64	看取り介護の充実と、ロングショートからの入所入退間をなくすことで、稼働率の確保を行っている。
	短期入所生活介護事業	78.00	87.82	112.59	引き続きロングショートの確保を行い、稼働率の安定を図っている。
	通所介護事業	60.50	63.27	104.58	ショート・ヘルパーと連携しながら、新規利用者の確保を行う事で、稼働率の確保を行っている。
菊水苑喜志の郷	グループホーム事業	98.00	97.20	99.18	前年に比べ、入院者数が減少していることと、入退間の空きをつくらない事で、稼働率は安定している。

【収入状況】

平成30年度収入状況【平成30年度当初予算に対する比較】

	実施事業	期初予算	実績金額	対予算額	達成率
菊水苑	介護老人福祉施設事業	324,807,900	326,089,399	1,281,499	100.39%
	短期入所生活介護事業	41,621,000	45,445,711	3,824,711	109.19%
	通所介護事業	34,069,000	43,664,491	9,595,491	128.16%
	居宅介護支援事業	18,346,200	18,310,444	▲ 35,756	99.81%
喜志菊水苑	介護老人福祉施設事業	438,606,900	432,007,589	▲ 6,599,311	98.50%
	短期入所生活介護事業	62,521,000	71,986,154	9,465,154	115.14%
	通所介護事業	57,493,000	58,478,268	985,268	101.71%
	訪問介護事業	21,089,863	19,012,302	▲ 2,077,561	90.15%
	ケアプランセンター事業	23,312,800	21,795,851	▲ 1,516,949	93.49%
菊水苑喜志の郷	小規模多機能型事業	48,809,000	43,086,684	▲ 5,722,316	88.28%
	グループホーム事業	89,502,000	88,564,974	▲ 937,026	98.95%
菊水苑富田林ケアサポートセンター	ケアプランセンター事業	22,217,700	22,675,183	457,483	102.06%

事業別状況

介護老人福祉施設事業	763,414,800	758,096,988	▲ 5,317,812	99.30%
短期入所生活介護事業	104,142,000	117,431,865	13,289,865	112.76%
通所介護事業	91,562,000	102,142,759	10,580,759	111.56%
訪問介護事業	21,089,863	19,012,302	▲ 2,077,561	90.15%
居宅介護支援事業	63,876,700	62,781,478	▲ 1,095,222	98.29%
小規模多機能事業	48,809,000	43,086,684	▲ 5,722,316	88.28%
グループホーム事業	89,502,000	88,564,974	▲ 937,026	98.95%

平成 30 度事業報告書

☆菊水苑実績報告

【 入所者の介護状況と介護度について 】

入所者の方のうち、約 80%の方が、自力での歩行不能の方となっている。食事では、全介助の必要な方が約 16%、入浴で全介助の方が約 69%、排せつでは、約 44%の方が、オムツ対応となっている。

介護度でみると、平均介護度は、男性 3.88、女性 4.06 計 3.97 で、前年の平均介護度と比較して、プラス 0.07 となっている。

【 入所者の入退所・入退院・空きベッド状況について 】

平成 30 年度の入退所の状況は、入所者 23 名、退所者 24 名で推移した。入所者の内訳は、在宅からの入所者が 14 名、病院から 3 名、他施設から 6 名となっている。退所者の内訳は、ご逝去された方が 20 名、長期入院のため契約解除した方が 3 名、他施設へ移行した方が 1 名の計 24 名であった。

入院者数は、1 ヶ月の平均延べ人数は 4 名で、1 ヶ月の平均延べ入院日数は、50 日、1 名あたりの平均入院日数は、15 日、また、1 ヶ月の入退間の平均日数は、15 日であった。

稼働率は、目標の 96.50%を上回り、97.33% (+0.83%) であった。

【 行事について 】

主な行事実施及び参加者については、別紙に記載しているとおりである。季節毎に変化のある、行事を実施し、また、地域のボランティアとの交流機会を設け地域との交流場作りに努めています。恒例となっている、8 月の納涼盆踊り大会も地域の皆様に喜ばれ益々盛況となっております。

【 行事食について 】

行事食は日本のイベントに合わせ季節を感じられるメニューの提供を行い、毎月、15 日には「いいご飯の日」、月末には、お楽しみメニュー、バイキング形式で行われる「面前提供」を提供し、食のイベントを演出する事により、身近な「食」を生活の「楽しみ」として感じて頂ける様、配慮させて頂き、入所者様や利用者様からも好評です。

【 短期入所に関する報告 】

総床数 4,745 床 (13 床×365 日) に対し、稼働床数は、4,220 床で、平均稼働率は、88.62%でした。昨年の平均稼働率 87.54%に比べ 1.08%上

回る。

昨年度の傾向としては、ロングショートの利用者を増加させかつ、稼働率の安定させた事が客単価の上昇に繋がる。

【 デイサービスに関する報告 】

平成 30 年度の新規登録者数は 36 名と昨年の 31 名に比べ 5 名増加し、施設入所やご逝去等での登録廃止者 19 名は昨年の 11 名に比べ 8 名増加した。年間延べ利用者数では、4,987 名と昨年の延べ利用者数 4,688 名に対し増加した。平成 30 年度は、目標稼働率の 60.00%を上回り 75.57%であった。利用者の方をみると要介護 3 以上の利用者数が 25.28%で、前年の 23.40%に比べると要介護度の高い割合が若干上昇しているが、利用者数の増加と平均利用回数を抑えながら延べ利用者数を増加できた事が、稼働率の上昇に繋がっている。

【 居宅介護支援事業に関する報告 】

平成 30 年度月平均ケアプラン数は、88 件、予防 39.5 件であった。認定調査は、月約 6.3 件で推移している。売上目標に関しては、¥18,346,200 に対して、¥18,310,444 となっている。

【 在宅介護支援センター業務に関する報告 】

相談者の件数は 18 件。相談のあった曜日別は、平日計 18 件、土・日・祝計 0 件。相談に対する対応方法は、訪問により説明を行うケースが半数であった。相談内容としては、介護保険に関する事が殆どであった。

☆喜志菊水苑実績報告

【 入所者の介護状況と介護度について 】

入所者の方のうち、61%の方が、自力での歩行不能の方となっている。食事では、全介助の必要な方が約 16%、入浴で全介助の方が約 28%、排せつでは、約 57%の方が、何らかのオムツ対応となっている。

介護度でみると、平均介護度は、男性 4.15、女性 4.22 計 4.20 で、前年の平均介護度 4.25 に対し、若干介護度が改善している。

【 入所者の入退所・入退院・空きベッド状況について 】

平成 30 年度の入退所の状況は、入所者 27 名、退所者 27 名で推移した。入所者の内訳は、在宅からの入所者が 5 名、病院から退院後入所された方が 11 名、他施設（老健・療養型）から入所された方が 11 名の計 27 名。退所者の内訳は、ご逝去された方が 25 名、長期入院のため契約解除した方が 2 名の計 27 名であった。

入院者数は、1 ヶ月の平均延べ人数は、3.33 名で、1 ヶ月の平均延べ入院日数は、41.1 日、1 名あたりの平均入院日数は、12.3 日、また、1 ヶ月の入退間の平均日数は、0 日であった。

稼働率は、目標の 98.00% に対し、98.63% で推移した。

【 行事について 】

主な行事実施及び参加者については、別紙に記載しているとおりである。特に好評を頂いているのは、春のお花見行事と夏に開催される夏祭り大会で、夏祭りには、ほとんどの家族と一緒に参加され、盆踊りの音楽を聞きながら、様々な屋台を楽しんで頂いている。また、日常のレクリエーションの一環として、地域とのつながりを感じて頂くため、近隣のスーパーにお買物に出かけたりしている。

【 行事食について 】

特に 11 月～3 月にかけて月 1 回行う鍋物デーが好評で、普段なかなか食事が進まない方も『おいしい』と率先して食べられている。また、皆様の前で調理をし、そのまま提供する面前提供では、『作りたては違う。』とおかわりをされる方も多く見られた。面前提供での人気メニューは、『握り寿司』で、お寿司カウンターを作り、握りたてのお寿司を利用者様に提供させて頂き、皆様に喜んで頂いた。

このほか、敬老祝会では、前年同様バイキング方式による祝い膳の提供を行った。お寿司、お刺身、焼肉、フルーツ等皆様に人気の食材が並び、大盛況であった。

おやつでは、たこ焼きデーの日が皆様に喜んで頂いている。また、たこ焼きデーのない月の『手作りおやつ』の日も出来立てが食べられると人気が高い。

また、入所者様の誕生日当日には、ケーキを職員が作って、家族様・他の入所者様と一緒に祝いながら提供している。

【 デイサービスに関する報告 】

平成 30 年度は売上目標¥57,493,000-に対し、売上¥58,478,268-で推移し、予算に対して¥985,268-上乗せする事が出来た。平成 29 年度の平均稼働率が 61.59%に対し、平成 30 年度の平均稼働率が 63.27%となったことが要因である。平成 27 年度より取り組んできた「併設型の大型施設で尚且つ柔軟で迅速な対応が出来る施設」というコンセプトのもと活動してきた事が形となっており、他事業所ケアプランセンター・ケアマネに認知されている。

新規獲得は、平成 29 年度 18 名、平成 30 年度 34 名となっている。さらに、既存の利用者様に対して働きかけ、曜日追加や、時短利用から通常時間の利用への変更を行うことで、稼働率や売上の増加に繋がった

【 短期入所に関する報告 】

総床数 7,300 床（20 床×365 日）に対し、稼働床数は、6,416 床で、平均稼働率は、87.82%であった。昨年の平均稼働率 76.56%に比べ、大幅に増加する事が出来た。常勤の先生を配置しているため、他の施設では受け入れ困難なケースも積極的に受入れることが出来ているため、近隣の居宅事業所からも信頼をえることが出来たことが、稼働率の上昇に繋がっている。

【 ヘルパーに関する報告 】

ヘルパー事業に関しては、30 年度の目標売上¥20,986,722-に対し、¥19,012,302-であった。職員の高齢化が進んできており、また職員の補充が出来ず、新規顧客をなかなか取り込めない事が目標未達の要因となっている。

また、30 年度は、1 日 2 回訪問していた顧客がロングショート利用となり、月 12 万円程度の売り上げが減少したことも要因の一つとなっている。

【 居宅支援事業に関する報告 】

平成 30 年度月平均ケアプラン数は、102.8 件、予防 50.6 件であった。認定調査は、月約 6.5 件で推移している。売上に関しては、¥22,602,800-に対

して、¥21,795,851-となっている。前年度は、予算目標の新規件数に対し、3件下回ったため、売上目標を達成することが出来なかった。

【 在宅介護支援センター業務に関する報告 】

相談者の件数であるが、高齢者 142 件、障害者 4 件、その他の方 5 名であった。その他の方の内訳は、母子家庭の方の相談であった。相談の曜日別として、平日計 135 件、土・日・祝計 16 件であった。相談の主な方法は、電話による相談であった。相談内容としては、介護保険制度や医療保険制度に関すること及びそれに伴う家庭・生活に関することがほとんどであった。

また、開催した介護予防教室の回数は、20 回であった。

以上

☆菊水苑喜志の郷実績報告

☆グループホーム

【 入居者の介護状況と介護度について 】

入居者の50%の方が、自力歩行不能となっている。食事では、全介助の方が、16%、入浴で全介助の方が27%、排せつでは27%の方がオムツ等全介助となっている。

年度末の平均介護度は、男性2.00、女性3.25、全体で3.11と前年度の平均介護度3.53に対し、介護度が0.42下がっている。

【 入居者の入退居・入退院の状況について 】

平成30年度の入退居の状況は、入居者4名、退所者3名で推移した。入居者の入居前の状況は、併設小規模多機能型居宅介護から2名、喜志菊水苑より2名であった。

退居者の退去後の状況は、菊水苑へ1名、喜志菊水苑へ1名、残り1名は入院のため契約解除であった。

入院者数は、1ヶ月の平均延べ人数は0.25名、1ヶ月の平均延べ入院日数は12.9日、1名あたりの平均入院日数は31日であった。

稼働率は、目標の98.0%に対して、97.2%であった。

【 行事について 】

主な行事実施及び参加者については、別紙に記載しているとおりである。内容は、基本的には特別養護老人ホームに順ずるものだが、フロアごとに、個別に食事を作ったり、外食に出かけたりしている。

☆小規模多機能型居宅介護

【 登録者数と介護度について 】

平成30年度の新規登録者数は7名で、廃止者数は12名となった。

新規利用者の利用前内訳は、同法人の居宅介護支援事業所からの紹介が5名、ご家族が直接相談に来られたのが2名の計7名。廃止者の内訳は、長期入院のために契約を解除した方が5名、同法人のグループホームに入院された方が2名、同法人の特別養護老人ホームに入居された方が1名、他の老人介護施設に入居された方が4名の合計12名であった。

年度末の平均介護度は、男性1.13、女性1.81 計 1.68 で、前年度末の平均介護度1.48に対し、介護度は0.2上がっている。

以上

☆菊水苑富田林ケアサポートセンター実績報告

【 居宅支援事業に関する報告 】

平成 30 年度月平均ケアプラン数は、介護 106.5 件、予防 45.4 件。認定調査は、月平均 12.7 件で推移している。売上に関しては、¥22,217,700-の予算に対して、¥22,675,183-の実績となっている。

以上